

令和元年度 放課後等デイサービス 事業者向け自己評価表

のびの木 藤沢本町

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			児童数や児童の状態により適宜職員を増員するなどの対応をしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		テナントビルに入居のため、共有部分のバリアフリー化はできないが、活動スペースにおいては利用児童の特性や活動内容を考慮し安全に配慮している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		組織として決定された。スタッフミーティングを充実させていく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			改善可能な意向については社内全事業所での改善に取り組むなど対処している。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修、外部研修への積極的な参加を促している。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールがない。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		担当指導員が中心に立案するが、他の職員の意見も取り入れる。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週ごとにプログラムを入れ替え、多様な運動種目を経験できるようにしている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			どの利用児童も参加できるよう平日、休日の区別なく課題を設定している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	就業時間の関係上、定例の打ち合わせはできないが、翌朝のミーティングで振り返りを行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳に細かに記入しコピーを保管している。また全職員に周知が必要な事項はノート等を用い記録している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか			○	事業所のコンセプトをもとに、必要に応じて組み合わせている。	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	会議がないが、会議が開催されれば参画できる。	

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			予定表をいただき、電話、迎え時に適宜確認している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の利用は無い
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて実施したい。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	移行の実績がない。将来的に移行する事態が生じた場合は情報を提供していく。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	運動療育に特化した活動内容のため交流機会がない。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		地域の協議会等がない。市エリアでの連絡会には加入し活動している。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	構造化したトレーニングは実施していないが、保護者からの相談に個別に支援している。
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時しっかりと説明している
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	開催する時間がとれず、実施していない。見学会の機会を通じ連携できる場を作っていく。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	○			対応している
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待できる行事を行っていない。
非常	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルに該当するものは策定しているが保護者に周知していない。周知の方法を考えたい。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、広域避難所までの避難訓練等を実施している。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部機関による研修へ参加している。

時等の対応	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	放課後等デイサービス計画に記載していないので、記載することとした。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食物アレルギーへの対応については、保護者からの説明を受け、対応している。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	作成し事業所内で共有しているが、事例の作成が滞りがちのため、細やかに作成していく。